口頭発表ルーブリック（2016年最終版）

発表内容について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No | 評価項目 | 評　　価 | ポイント |
| ４（頂上） | ３（八合目） | ２（五合目） | １（登山口） |
| １ | 課題発見 | 客観的な根拠に基づいた現状分析がなされている。 | 客観的な根拠に基づいた現状分析がなされている。 | 客観的な根拠に基づいた現状分析がなされている。 | 現状分析が客観的な根拠ではなく，少人数の談話や一方的な論調などに偏った意見によっている。 | 客観的な根拠の例・問題のある状況を明確に示す統計データ・複数の異なる立場の意見信頼のおけない（客観的でない）根拠の例・少数の人の談話のみ・偏った論調ばかり・課題の対象と大きく条件の異なるアンケート |
| 優先順位の高い課題が検討された上で提示されている。 | 課題が列挙されているが，優先順位付けなどは行われていない。 | 提示された課題がわかりにくい。 |
| ２ | 課題に関する分析・考察 | 信頼のおける情報・データから考察がなされている。 | 信頼のおける情報・データから考察がなされている。 | 信頼のおける情報・データから考察がなされている。 | 示された情報・データのみでは根拠として疑いの余地がある。調べたことばかりに終始してしまい，情報の持つ意味をうまく利用していない |
| 情報に裏打ちされた非の打ち所のない考察がなされている。 | 熟考された考察をしているが疑問や反論の余地を含む。 | 情報を見て誰しもが考えるようなことばかりで、深さが感じられない。 |
| ３ | 提案（アクションプラン） | アクションプランが具体的に示されており，そのプランに現実性がある。もしくはそのプランを実行に移している。 | アクションプランが具体的に示されているが，現実性がない。 | アクションプランが示されているが，具体的でない。 | 有効なアクションプランが示されていない。 | 自分たちの課題解決に向かう具体的で実現可能なアクションプランが示されているか。（アクションプラン必須） |
| ４ | 独創性 | 研究の全体に独自性がある。そして提案にも独自性がある。 | 研究の全体には独自性を感じない。提案には独自性がある。 | 研究の全体には独自性がある。提案には独自性がない。 | 研究の全体に独自性がない。提案にも独自性がない。 | 独自の着眼点の例・発想の転換　　・新発見・多角的な解釈 |

発表技術について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 評価項目 | 評　　価 |
| ３（山頂） | ２（五合目） | １（登山口） |
| ５ | スピーチ | 緩急，強弱の変化にあふれ，強調したいことが自然と伝わってきた。 | 聞き取りやすいが，中身の軽重までは伝わってこなかった。 | 原稿が見えてくるかのような棒読みであった。まくし立てるような早口であった。 |
| ６ | コミュニケーション | 聴衆と発表者の目が合ったり，聴衆が思わずうなずきや感嘆などのリアクションをとってしまいそうな雰囲気を作り出していた。 | 原稿を見ることはないが，淡々とスライドを見せるだけのプレゼンテーションになっていた。 | 発表者が原稿を読んでおり，聴衆とのアイコンタクトが取れていなかった。 |
| ７ | スライドづくり | 文，語，図や表に見るべきポイントを追記しており，強調したいことが自然と伝わってきた。 | 図や表などの非言語的な要素が多く，わかりやすかった。 | 文が基本でスライドの解釈に頭が疲れる。アニメーションを多用しすぎていて，中身が入ってこなかった。 |
| ８ | 構成 | 言いたいことを羅列しているのではなく、聴衆が聞きたいことを意識したわかりやすさがあった。 | よく伝わってきたが，言いたいことばかりで，多くの聴衆が疑問に思いそうなことまで説明していない。 | 話の筋道は通っていたが，全体に平坦でセールスポイントが見えにくい。 |